

稱讚 二五二二号

二〇二四年一月一日発行

発行 浄土真宗本願寺派 稱讚寺

〒二二一〇〇七五

東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号

TEL 〇三―五二四二―二〇二五

FAX 〇三―五二四二―二〇二六

HP shousanji.com

二〇二三年度 稱讚寺門信徒会費

年会費 六千円

振込先 城北信用金庫 一ツ家支店

名義 浄土真宗本願寺派 稱讚寺教会

代表 北村 信也

口座 普通 6176051

※ゆうちょ銀行の場合は、最終ページをご参照ください。

謹んで 新年あけまして

おめでとうございます。

によらいだいひ おんどく

如来大悲の恩徳は

みここ

身を粉にしても

ほう

報ずべし

ししゅちしき おんどく

師主知識の恩徳も

ほね くだ

骨を砕きても

しや

謝すべし



二〇二三年十二月二十七日(日)

この間、羽鳥さんのモーニングショウを見ていたら、大人になると、時間が短く感じると言うことが話題になっていました。

今年もあつという間に過ぎた気がします。

子どもの頃は、はじめての体験や様々な出来事がめまぐるしくあり、一日が長く感じる一方で、大人になると、行動がある程度パターン化したり、感動するような出来事が少ないから、時があつという間に過ぎた感じになるのだといわれました。玉川さんは、今も子どもの頃と変わっていないとコメントしていましたが私はどうかというと、この一年もいろんな出来事があり、いろんなご縁があったはずですが、そのことを忘れてしまっていて、受けたご恩やえ、忘れてしまっているほどだから、時があつという間に過ぎた感じをもってしまっているでしょう。

報恩講をお迎えして、あらためて、本年を振り返り、尊いご縁に今出遇わせて戴いているとの仏恩報謝の憶いを辿って参りたいと思います。

稱讚寺 報恩講

日時 十二月十七日(日)正午

日程

一二：〇〇 受付

一二：三〇 御齋

一三：〇〇 おつとめ

『正信偈』(行譜・六首引き)

一三：四五 休憩

一四：〇〇 法話 住職

「報恩のお念仏」

一五：〇〇 茶話会



稱讚寺カメラより撮影 「本典作法」「正信偈」(行譜・六首引き)

当日は、晴天にも恵まれ、心身ともに温かい一日を過ごさせて頂きました。
正午よりご参拝頂き、御齋を食していただきました。

早崎光弘さん・山田昌三さん・安達光成さん・中木原乃既子さん・山下陽子さん・福井恒彰さん・高橋八重子さんにご参拝頂きました。ようこそようこそお参り頂きました。

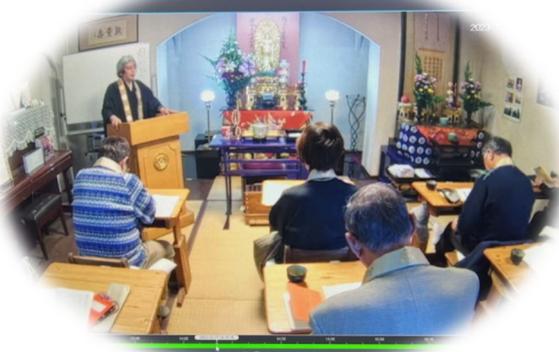
一時より七条袈裟をまとった住職が『御本典作法(旧)』のおつとめ中にご本尊・祖師前で、皆さんにお焼香いただき、ご一緒に『正信偈』行譜・六首引きをおつとめいたしました。皆さんでお正信偈を唱和すると、本当に気持ちが良いです。

おつとめの後、「信心獲得章」を拝読し、ご挨拶させていただき、休憩に入りました。布袍に着替えた住職が「報恩の念仏」ということでお話させていただきました。

最初に、覚如上人の著述で、報恩講の元となった『報恩講式』を読ませて頂きました。(讚文を除いた文章を冊子に掲載)

その中には、親鸞聖人のお徳を三つに分けて宣べられており、一つには「真宗興行の徳を讚ず」二つには「本願相應の徳を嘆ず」三つには「滅後利益の徳を述す」ることが、親鸞聖人のお徳への報謝だと述べられていることをお話させていただきました。

そして、「報恩の念仏」と做ってきたことですが、「私が念仏することが、阿弥陀さまの恩徳に報いること」との理解が多いのですが、阿弥陀さまを主体としたら、法蔵菩薩さまが五劫思惟され、ご本願が成就した結果として、阿弥陀さまのお徳ご恩が報われた相が「南無阿弥陀仏」のお念仏と言う意味が「報恩の念仏」



か。と言うことなのではないでしょうか。

如来大悲の恩徳は
身を粉にしても報ずべし
師主知識の恩徳も
骨を砕きても謝すべし

の恩徳讃を歌うにつけ、聞くにつ
け、自分がどれほど、阿弥陀さまの
ご恩を味わい報謝のために、お念仏
申しているのかと怪しくなります。

親鸞聖人のご遺徳をどれほど、感
じているのか、いよいよ学んでいか
ねばならないと思うことです。

2023年潜んだ世界の10大ニュース

GNV(GLOBAL NEWS VIEW)より

2023年も、メディアが注目した話題としなかった話題の差が大きかった。世界では、多くの人や国、さらには世界全体などに大きな影響を与えたにも拘わらず、日本のメディアでは殆ど報道されなかった、あるいは全く報道されなかった出来事が多数起っているのである。

武力紛争に関しては、2023年に報道を独占した出来事は、2022年から続くロシア・ウクライナ紛争とイスラエル・パレスチナ(ハマス)紛争だった。その一方で、報道であまり取り上げられなかったアフリカ、アジアなどでは複数の紛争が繰り返されていた。例えば、コンゴ民主共和国では、長らく続く紛争によって、過去最多の690万人にもものぼる避難民が発生しているにも拘わらず、2023年には日本の大手新聞で全く報道されていない。また、5人の富豪を乗せたタイタニック号見学の潜水艇が水没したことについては日本で注目されたにも拘わらず、同週に地中海で沈没した船に乗っていた難民・移民のうち600人が亡くなったことについては殆ど報道されていなかった。他にも、イギリスのチャールズ国王の象徴的な戴冠式は日本でも大きく取り上げられた裏で、多数の人々の生活を左右した政治的な出来事が世界各地で発生したにも拘わらず注目されなかった。

そこで、GNVでは、2018年から2022年に引き続き、2023年に起った、多くの人や国、または世界全体に影響を及ぼしたにも拘わらず、それに見合った報道がなされていない出来事を独自に選出し、10位までのランキング形式にまとめた。

以下に、GNVが選出した10の出来事を順番に発表していく。(※基準記載は割愛しています)

第1位 G20、化石燃料への補助金が4倍に急増

2023年の持続可能な開発に関する国際研究所(IISD)の調査によると、2022年、G20諸国が化石燃料に対して1兆米ドルを超える補助金を投入したことが明らかになった。これは、2021年に比べておよそ4倍に当たる。補助金は主に消費者向けと生産者向けの2種類であるが、今回急増したのは消費者に対する補助金である。補助金の目的は、ロシアによるウクライナへの侵攻と其後のロシア経済制裁によって、化石燃料価格が高騰したことに対して、販売価格を維持するためであった。ただこの方針は、2009年の化石燃料補助金の段階的廃止を決めたG20での取り決めと逆行している、と非難されている。化石燃料補助金は、価格上昇の影響を受ける人々を支援するために必要だという見解もある一方で、化石燃料を使い続けるインセンティブを生み出してしまうとも言われているのである。さらに、2023年にアラブ首長国連邦(UAE)で開催された国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)では、化石燃料からの「移行」が合意されたが、化石燃料への補助金はこれを妨げる。他にもCOP28では、UAEの国営石油会社の最高経営責任者、スルタン・アル・ジャベル氏が議長を務め、国営の石油・ガス会社の取引を促進するためにこの会議を利用した疑いもある。また、COP28には化石燃料関連企業のロビイストが少なくとも2,456人参加したと見られており、過去最多の人数となった。

第2位 サウジアラビア国境警備隊による移民の虐殺、衆百人が犠牲に

サウジアラビア国境警備隊が、イエメンとサウジアラビアの国境を越えようとしたエチオピア人移民・難民の集団に向けて無差別に発砲し、殺害してきたことが人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチの調査によって判明した。死亡者数は、2022年3月から2023年6月の間で少なくとも665人、多ければ数千人と言われている。虐殺が行われたとされるこの場所は、通称「東のルート」と呼ばれる回廊上にあたる。エチオピアやソマリアが位置するアフリカの角から、海上を渡ってイエメンに渡り、サウジアラビアに向かうルートであり、世界で最も混雑している海上移民回廊である。移民・難民が移動する理由はいくつかあり、貧困や干ばつ、武力紛争や政治的不安定などが挙げられる。サウジアラビアは労働力の多くを移民労働者に頼っている側面もあり、移民は雇用機会などを求めてサウジアラビアに向かうのだ。しかし、移動ルート上にあるイエメンでは、2015年以降サウジアラビアなどの軍事介入もあり、世界最悪とも呼ばれる程の紛争が続いてきた。そのため、イエメンに上陸、通過することも移民にとっては命がけである。また今回の虐殺について、サウジアラビアは否認しているが、エチオピアとサウジアラビアで共同調査を開始する予定である。

第1位 毎日新聞に1回掲載 第2位 毎日新聞に1回掲載

第3位 世界の教師不足が4,400万人

現在、世界には学校に通えていない子どもが8,400万人もいると推定されている。原因は、長引く紛争や貧困、インフラの不整備など様々だが、これらに付随する原因として教師不足が挙げられる。2023年10月の国連教育科学文化機関(UNESCO)の発表によると、世界で4,400万人の教師が不足している。この数字は、2016年に6,900万人だった状況からは改善されているが、依然大きく不足している。このような教師不足の原因は複雑であり、各地域によっても大きく異なる。例えば、教師不足が最も顕著なサハラ以南アフリカでは、教育に対して十分な予算がつけられていないことが最大の原因とされている。一方、ヨーロッパと北アメリカでは、労働条件や給与への不満による離職率の高さが主な原因のひとつである。このような状況で、すでに持続可能な開発目標(SDGs)のゴール4「質の高い教育をみんなに」の目標到達は不可能と見られている。というのも、1番目のターゲットを達成、すなわち2030年までに全ての子どもが中等教育を修了できるようにするためには2021年までに小学校に入学する必要があるのだ。

第4位 イラク、100年間で最悪の水不足

イラクでは、ここ100年間で最悪の水不足が起っている。この水不足は、農民の約60%に影響を与えていると言われている。具体的には耕地が大きく減少し、家畜や魚が死亡するなどの被害を受けている。このような深刻な水不足に陥った原因は様々であり、気候変動などによる干ばつや石油採掘の際に多くの水を使用する石油産業の過剰化、長期間にわたる紛争などが挙げられる。紛争については、1990年代の湾岸戦争とその後のサダム・フセイン政権に対する経済制裁や2003年のアメリカによる侵攻、2014年のイスラム国の台頭などがある。また、紛争によるインフラの破壊や政情不安、他にも根強く残る汚職などが、水管理政策の不備にも影響を与えている。他にも、クルディスタン地域では人口の急増も原因の一つとされている。また、上流諸国との関係も水不足に大きな影響を与えている。イラクにも流れるティグリス川とユーフラテス川の上流及び支流に位置するトルコとイランでは、新たなダム建設が行われている。実際に、1975年に比べ、トルコからイラクの水の流入は約80%も減少している。

第5位 結核薬のジェネリック製薬が可能に

2023年9月、世界の中低所得国134カ国で多剤耐性結核に対して使われる結核薬ベダキリンのジェネリック製薬が可能になった。世界最大の製薬会社、ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)が結核薬ベダキリンの特許を放棄したのだ。結核とは、細菌によって引き起こされ、空気を介して感染が広がる三大感染症のひとつであり、これが原因で2022年もなお世界中で130万人もの人が亡くなっている。この結核は抗生物質で治療可能である。そのため、治療薬のジェネリック化は、多剤耐性結核患者の4人に3人に相当する、45万人に影響を与えると予測されている。結核薬のジェネリック化は、2023年3月にインドの知的財産控訴委員会がJ&Jによるベダキリンの特許延長申請を却下したことが契機である。その後国境なき医師団などからJ&Jに特許延長申請取り下げ要請などが行われたことで、J&Jが中低所得国での延長特許を放棄することを発表した。近年まで6カ月あたりの薬剤価格が400米ドルだったベギタリンは、2023年8月に130米ドルに下がった。特許放棄によりさらに80米ドル~102米ドルに下がる見込みとされている。一方で、日本の製薬会社、大塚製薬は別の結核治療薬の特許を未だ所持しており、それを放棄することが求められている。

第6位 アフリカ初の気候サミット開催

2023年9月、史上初のアフリカ気候サミットが開催され、その背景には、年々拡大する気候変動による影響がある。アフリカの炭素排出量は、現在までの世界の積算炭素排出量のうち、たった3.8%のみであるが、気候変動による被害を大きく受けてきた。例えば、東アフリカでの干ばつの悪化や南東アフリカを襲ったサイクロン、リビアでの大規模な洪水などがあり、2023年はアフリカ全土での災害死者数が最も多い年のひとつになっている。気候サミットは大きく2つの目的を掲げていた。1つ目は、損失と損害の保証と今後の気候変動対策のための新たな資金調達メカニズムを構築すること。2つ目は再生可能エネルギーのインフラ整備の道筋を明確にすることである。サミットの成果としては、世界へアフリカ共通の立場を示す「ナイロビ宣言」が採択された。その中で、二酸化炭素排出量の多い国が低所得国への責任を負うための炭素税導入と、世界でのグリーン投資の多国間金融システム改革、すなわち低所得国への無償融資の増加が提案された。このナイロビ宣言を通して、COP28でのいくつかの宣言においてアフリカの要望が反映されている。

第3位 朝日・毎日・読売 0回 第4位 朝日・毎日・読売 0回

第5位 朝日・毎日・読売 0回 第6位 毎日新聞 1回 読売新聞 1回

第7位 EU、非OECD諸国へのプラスチック廃棄物輸出禁止に合意

2023年11月17日、欧州連合(EU)議会は廃棄物輸出規則を更新し、経済協力開発機構(OECD)諸国以外への非有害プラスチック廃棄物の輸出禁止についての暫定協定に同意した。現在ヨーロッパでは、毎年約2,600万トンのプラスチック廃棄物が排出されているが、そのうちリサイクルされているのは30%未満である。そして、輸出された廃棄物の半分はEU諸国以外の国へと向かっている。2022年には、主にトルコ、マレーシア、インドネシアといった、処理や処分が低価格で可能な非EU諸国へ輸出されたプラスチック廃棄物は110万トンを超えた。ただし、EU域内廃棄物の輸出先の半分を占めるトルコは輸出が制限されていないという問題もある。トルコはEUには加盟していないが、OECD諸国には含まれているため、今回の規制の対象外となる。しかし、トルコではプラスチック廃棄物が必ずしも環境に配慮した方法で処理されているとはいえない状況である。そのため、環境破壊や廃棄物処理場の周辺住民への悪影響が続く可能性が懸念されている

第8位 ブルキナファソで紛争・テロが激化

ブルキナファソでは、2015年から続く武力紛争が激化している。この紛争は、隣国マリから武装勢力が侵入してきたことで始まり、以降1万7,000人以上が死亡しているが、2022年以降死者が急増している。具体的には、2023年の紛争死者数は8,600人にのぼると推定されている。また、2022年には、世界テロ指数がアフガニスタンに次ぎ第2位となっており、状況の深刻さがうかがえる。このような状況で、避難民の数は増加し、国民の10人に1人である210万人が自宅を追われており、国民の4分の1もの人々が人道支援を必要としている。また、教育においても、国内の4分の1の学校が閉鎖し、100万人の生徒に影響を与えている。ブルキナファソの紛争は一国で留まるものでなく、マリやニジェールなどとも密接に関係している。また、国家間関係の移行も見られる。2022年に2度発生したクーデター後の政権のもと、駐在していたフランス軍が撤退し、ブルキナファソはフランスが主導していたG5サヘル同盟からも離脱した。一方で、ブルキナファソ、マリ、ニジェールの3国で相互防衛協定「サヘル諸国同盟」が設立された。

第9位 国連世界食糧計画(WFP)の食糧支援が減少

2023年9月、WFPは資金不足により世界での食糧支援が急減しており、緊急の食糧不足に陥る人が今後12カ月で50%増加する可能性があることを発表した。世界では現在、4,000万人が緊急レベルの飢餓に陥っているが、2024年9月までに更に2,400万人が直面する可能性があるという推計している。これほど深刻化している原因は、紛争や気候変動による食糧不足に加え、新型コロナウイルス感染症の長期的流行やロシア・ウクライナ紛争による食料価格の高騰が重なったことなどが挙げられる。さらに、インフレやサプライチェーンの乱れは、WFPの食糧支援コストも増加させている。しかし、各国の支援予算の多くはウクライナに対する支援に流出しているため、WFPの資金は集まりにくくなっており、そのしわ寄せは多くの国で見られる。コンゴ民主共和国では、約2,600万人が深刻な食糧不足に直面している。しかし、7億7,400万米ドルの資金不足により、支援縮小を余儀なくされている。またアフガニスタンでは、約1,530万人以上が深刻な食糧不足に陥っている。しかし、資金不足により食糧支援を提供する人数を1,000万人に削減する見込みだ。他にも、シリアやマリ、イエメンなどで同様の傾向が見られる。

第10位 アフガニスタンでのケシ栽培が95%減少

2023年、アフガニスタンでは、ヘロインやアヘンといったオピオイド系麻薬の原料となる植物であるケシの栽培が95%減少した。この理由は、2021年に政権を奪還したタリバン政権が、2022年4月にケシ栽培を禁止し、取り締まりを行ったためである。アフガニスタンでの栽培は、世界全体でのケシ供給の80%を占めていたため、ヘロインなどのオピオイド系麻薬の密売、使用が世界で減少するという予測もある。しかし一方で、フェンタニルなどの合成オピオイドなどの代替品が急速に広まる恐れも指摘されている。さらに、タイ、ラオス、ミャンマーの「黄金の三角地帯」では、アフガニスタンに代わってケシの栽培が急増しているのが現状である。特にミャンマーでは、2022年で33%も増加している。また、ケシ栽培を生活基盤としていた農民たちは、収入源を失って困窮に陥っている。実際に、ケシ栽培の禁止によって失った収入は10億米ドル以上にものぼるとされており、代替である小麦栽培で得られる収入では到底まかないきれない状況だ。また、ケシ栽培が禁止されたアフガニスタンでは、メタンフェタミン(覚醒剤)の生産が急増している。

第7位 朝日・毎日・読売 0回 第8位 毎日新聞 1回 読売新聞 1回

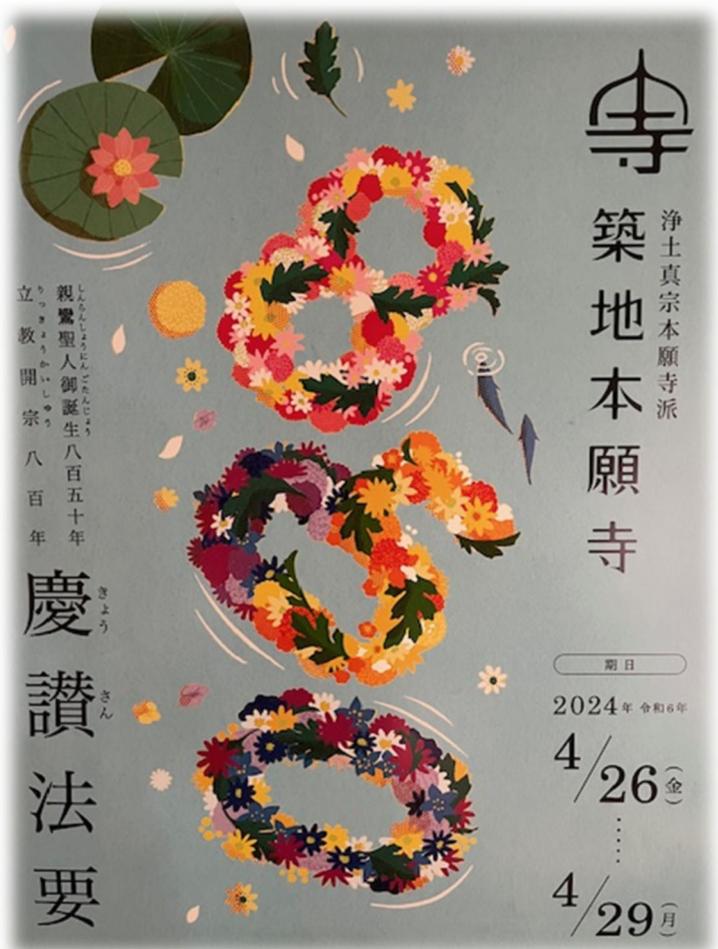
第9位 朝日新聞 2回 第10位 毎日新聞 1回

2023年の10大ニュースを振り返ると、気候変動などの環境にまつわる問題や、水や食糧不足、武力紛争といった人道危機に関する問題などが多くランク入りした。どのニュースも、たくさんの人に影響を与えている大きな出来事だが、日本のメディアではほとんど取り上げられていない。

また、候補に上がったものの、10位以内には入らなかったものも含めて見渡しても、やはり気候変動問題や食糧問題が特に深刻化しているように思われる。たとえば、気候変動問題や食糧問題においては、南極での海氷減少やスイスでの氷河激減などにも注目した。また、麻薬関連については、アフガニスタンのヘロイン栽培の変化に加え、コロンビアでのコカ栽培の増加や中東アフリカでのカプタゴン(覚醒剤)流通の増加も見られた。他には、長年改善が見られないジェンダー問題についても、世界の9割の人々が女性に対してジェンダーバイアスを持つという調査結果が発表されたことや、南アジアの女児の婚姻が世界最多という状況を、重大なニュースとして捉えた。

※インターネットで、2023年の出来事を検索していたら、日本では殆ど報道されなかった世界の出来事を紹介した記事に出会った。私は3月のWBCの侍ジャパンの優勝、大谷選手のホームラン王・MVP獲得や、野球に限らず、サッカー、バスケット、バレーボール、スケート等、様々なスポーツで世界で活躍している事に喜んでいましたし、将棋の藤井氏の八冠も喜んでいました。その一方で、未だに続いているロシアのウクライナ侵攻やハマスのイスラエルへの奇襲に始まったイスラエルの徹底した攻撃が毎日報道されるたびに、自分の浮かれた生活にハッとされることでした。そして、この記事を読んで、より世界の深刻な状況を知らされ、他人事ではない、自分の生活態度も関わっているのだと感じたことです。あまりにも、自分のことばかりで、もう少し広く見つめる姿勢を、この年になって思うことです。

- ◎詳細並びに参拝お申し込みについては、後日、ご連絡申しあげます。
- ※日中法要にご参拝の場合 八:00 受付
- ※速夜法要にご参拝の場合 一:00 受付
- ※御齋弁当(日中法要参拝者) 一:30~二:00 三千元
- ※御齋弁当(速夜法要参拝者) 二:30~二:50 三千元
- ※帰敬式 全三日間速夜法要後・御満座法要後
- 法要期間 四月二十六日(金) 一四時 速夜法要(前門様御出座)
- 二七日(土) 一〇時 日中法要 一四時 速夜法要(前門様御出座)
- 二八日(日) 一〇時 日中法要 一四時 速夜法要(御門主様御出座)
- 二九日(月) 一〇時 御満座法要(御門主様御出座)



稱讚寺 一月行事予定

六日(土) のんのん法話会 午後二時

一六日(土) のんのん法話会 午後二時

二六日(金) のんのん法話会 午後二時

二九日(月) 「花(こぶし)」観劇

於・浅草公会堂

二九日(金) ～一月五日(金)

鹿児島に帰省中のため、お寺を留守いたします。



むりようじゆ

意量寿 われ限りない

かぎ

いのちを 生きる

二〇二四年「心のともしび」一月カレンダーより

「パーキンソン病の進行に負けずにオリジナルCDアルバムを作成したい」クラウドファンディング開始のご案内

住職が築地本願寺で仏教婦人会発足四十周年大会を担当していたとき、今から二十年以上前ですが、大会で、知り合いの方の紹介で、東京音楽大学の邦楽の学生さんに「音楽法要『重誓偈』の演奏をお願いしました。その学生さんのお一人で、プロデュースした「矢尾板」さんから、お手紙を頂きました。『寺報』は毎回送ってはいたのですが、お手紙を拝見しますと、パーキンソン病を患って十年を超え、それでも、ずっと、シンガーソングライターとして活動しておられたそうです。病が進行し三年後には、活動出来なくなるということで、自分の音源を残しておこうと思われたそうです。

そこで、CD作製の資金を集めるのに、クラウドファンディングを活用することになり、御縁のある方に案内がありました。

ご興味がありましたら、

「矢尾板拓也 クラウドファンディング」

で、検索してみてください。ご本人のオリジナル曲の動画も視られます。

趣意書の中に「地元である群馬の風と花をモチーフに作ったオリジナルの楽曲を音源化し、商業目的でなく世の中で不遇を嘆く人々に知ってもらいたい。また生きた軌跡として自分の作品を残したい」と記されておりました。

編集後記(愚案)

年の瀬、十二月二十六日(火)～二十八日(木)までに町会の歳末警戒パトロールを行ってありました。中間日の二十七日、みんながパトロールに出ている間に、私と防犯防災部長とで、本部テントで留守番をしておりましたら、ひよこつと、外国の方が、お一人、訪ねてこられました。親しげに、「お久しぶりです」とテントの前に現れたものですから、以前にも会ったことがあるかなあと思いました。

お話を聴くと、七カ月前にイランから来日したと。日本人と日本語が大好きだと。日本の女性と結婚したいとも。今、八潮に暮らしており、出来たら、この辺に住みたいと。町内にあるリサイクルショップのオーナーとも友だちであるけれど、日本の方と仕事をしたいと。

日本語がうまいねと尋ねると、イランでテレビで学んだとのこと。「おしん」とかと、本人から言われ、「ドラゴンボール」「キャプテン翼」とか言うとう、そうそうと頷いていました。

イランの方は、やはりイスラム教徒だろうと思っておりましたので、部長が「私は仏教徒、御釈迦様の教えね。あなたはやはりモハメッド?」と尋ねると、発音が悪かったのか、わからず、否、天を仰ぎながら、神様(アッラー)ね。と応えました。

それにしても、ビール缶6本のケースを手持っているけども思っていましたら、みんながパトロールから帰ってきて、熱燗を飲み出すと、あれは何ですかと尋ねるので、部長が、日本酒、飲む?と言うと、嬉しそうに頂かれ、美味しいと言っていました。そして、何故、こんな美味しいものをイスラム教は禁じるのだろうと呟きました。イスラム教徒の本音を少し知った気がしました。